

「輸出特化型カツオ・マグロ関連産業の産業組織—フィリピン・ゼネラルサントスを事例として—」

〔概要〕

フィリピン・ミンダナオ島のゼネラルサントス市はマグロのメッカであり、隣接する大都市であるダバオとともに缶詰用・刺身用マグロの集積地となっている。缶詰用・刺身用キハダマグロとカツオの漁業、缶詰産業、刺身加工業、缶詰・刺身輸出業は垂直統合ならびに水平統合され、パヤオ（浮き漁礁）を媒介とした漁場の共同利用と大規模船主による複合経営・融資を通じた系列取引が行われていることを明らかにしている。